

CAMPUS NOW

No.202 2012. 12. 28



➤ 平成 24 年度知的財産に関する講習会を実施

9月19日(水)、本校教員及び技術職員を対象に、有益な知的財産の社会における活用と知的財産への対応能力の向上を目的として、独立行政法人国立高等専門学校機構 高専一技科大連合 スーパー地域産官学連携本部 発明コーディネーターの 清水榮松 弁理士をお迎えし、「知的財産に関する講習会」を開催しました。

日本における特許出願状況や、本校の特許出願事例を挙げながら、特許出願手続きの流れ等の解説があり、知的財産に関する理解を深める講習会となりました。



▲講習会の様子

➤ 学生相談に関する研修会を実施



▲講師の西原勝則氏

9月20日(木)、新居浜市立浮島小学校長(上級教育カウンセラー)の西原勝則氏を講師にお招きして、「高機能自閉症(アスペルガー症候群)を有する学生への具体的な支援」と題し、学生相談に関する研修会を実施しました。

西原先生は昨年まで新居浜市こども発達支援センターの指導主幹として、発達障がいのある子どもたちの支援に尽力され、この分野において積極的な活動をされています。

今回の研修会では、発達障がいの中の高機能自閉症等について説明がありました。誰にでも発達凹凸があると前置きした上で、特に発達障がいのある学生には根性論で接するのではなく、思いを聴き、その困難を生み出す環境を調整する合理的配慮をするべきとし、また、叱るのではなく、時間をかけて教えることが大切で、その学生自身が成功体験を味わえるように導くことが重要と話されました。

限られた時間でしたが、特別支援教育のあり方について学ぶ貴重な機会となりました。

➤ 重慶工業職業技術学院訪問学内報告会を実施



▲重慶訪問報告を行う

電気情報工学科・平野准教授

9月28日(金)、本校と学术交流協定を締結している重慶工業職業技術学院を9月上旬に訪問した校長及び教職員3名が報告会を行いました。

重慶市及び重慶工業職業技術学院の概要説明と表敬訪問の成果や、同学院の機械実習工場及びオートメーション学科視察について、本校との違いを交えながら報告がありました。

また、土木分野を専門とする鈴木校長から、重慶の発展と長江の治水について講話がありました。

本報告会には、教職員約30名が出席し、協定締結校に対する理解を深めました。

➤ 校内一斉巡視を実施

全国労働衛生週間（10月1日～7日）における取組の一環として、10月2日（火）に校長及び安全衛生委員会委員による校内の一斉巡視を行いました。

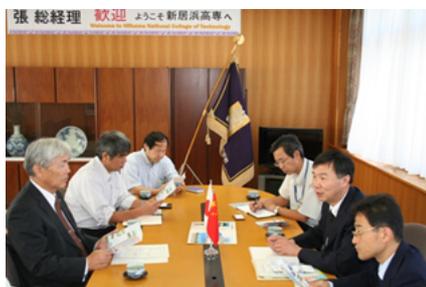
今回は、構内（屋外）の危険箇所のチェックを重点項目として実施し、構内通行の表示板が見えにくいなど、普段見落としがちな点について指摘がありました。



▲巡視の様子

➤ 徳州市国際経済技術合作公司 張洪偉 総経理が本校校長を表敬訪問

10月5日（金）、中国・山東省 徳州市国際経済技術合作公司 張洪偉 総経理が、本校校長を表敬訪問しました。徳州市は、新居浜市と平成9年に友好都市締結を行ってから、相互訪問を中心に交流が続いています。当日は、本校校長室を訪れ、佐々木龍新居浜市長も交え、和やかに懇談しました。



▲協議の様子

本校関係者との懇談では、徳州職業技術学院及び徳州学院との学术交流や、本校学生のインターンシップ派遣について、協議しました。今後、本校は張総経理を通じて、徳州市及び両学院との交流を進めていくことにしています。

また、張総経理は、「あかがね工業博2012」において、変圧器で評判の高い「徳州信平電子有限公司」の製品を展示するとともに、徳州市を紹介しました。



▲左から本校鈴木校長、張洪偉氏、佐々木新居浜市長

➤ 全国高等専門学校第23回プログラミングコンテストに参加

平成24年10月13日（土）・14日（日）の2日間、有明高専を主管校として、大牟田文化会館において第23回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（本選）が開催され、本校からは「よしだか—Luc ky—Hawks—」が競技部門に出場しました。

競技部門の今年のテーマは「数えなサイ ～Here are Dice!～」で、生産現場、医療、自然観測など様々な分野で利用されている画像解析の技術を用いて、山に埋もれたサイコロの個数を早く・正確に数えることを競いました。

惜しくも1回戦で敗退しましたが、たくさんの収穫を得ることができました。



▲競技中の選手達

➤ モデルコアカリキュラム説明会を開催

10月16日（火）、高知高専教務主事 勇 秀憲先生をお招きし、「モデルコアカリキュラム説明会」を開催し、本校の教職員約50名が出席しました。

勇先生からは、モデルコアカリキュラムの導入に向けて、これまでの経緯や高知高専での事例紹介がありました。

説明会終了後の質疑応答も活発に行われました。



▲説明会の様子

➤ 創立50周年記念事業「あかがね工業博2012」を開催

10月6日・7日、創立50周年及び新居浜市制施行75周年記念事業「あかがね工業博2012」を開催し、学生や家族連れ、企業関係者ら約7,000人が来場しました。

開会に先立ち、鈴木校長、俊野愛媛県東予地方局長、佐々木新居浜市長のあいさつがあり、来賓を代表して獅山経済産業省四国経済産業局長から「愛媛県東予地方に集積した産業が新居浜高専とともに今後も発展するきっかけとなってほしい」と祝辞がありました。

当日は、「地域発！にはまものづくり塾」と題し、住友重機械工業株式会社 金尾憲一氏の「宇宙ものづくり」、日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介氏の「数字でひもとく ものづくり日本」に加え、藻谷氏による高専生・高校生向け特別講義「藻谷塾」がありました。

また、各学科の活動を紹介する「わくわくものづくりカーニバル」や、東予地方の製造業企業を中心に、産業や技術力の高さを紹介する「スゴ！技 スゴ！もの展示コーナー」を設け、ものづくりをテーマに様々な催しを行いました。

(右) 記念メダル

(下) テープカット



ものづくり新居浜」の2つの講演



➤ 日系ブラジル人研修生が来校

10月16日（火）、日系ブラジル人研修生の梅宮・真美・クリスさんが本校を訪問しました。

梅宮さんは、ブラジル南部のサンタ・カタリーナ州出身で、祖父母が愛媛県出身ということもあり、愛媛県海外協会が訪日を受け入れ、この度、新居浜市訪問にあわせて来校しました。

当日は、校長及び早瀬国際交流推進室長、生物応用化学科の学生12名と懇談し、日本とブラジルの生活の違いや祭り文化についてお互いに質問し合うなど、交流を深めました。



▲全員で記念撮影。(前列左から3人目が梅宮さん)

➤ ^{しかない}鹿内青森市長が校長を表敬訪問

10月17日（水）、鹿内博青森市長とミスりんごあおもりの木村恭子さんが校長を表敬訪問しました。

本校創立50周年及び新居浜市制施行75周年を記念して公開した旧青函連絡船「羊蹄丸」内に展示されていた「青函ワールド」は、現在、青森港に係留保存されている「八甲田丸」内に移設展示されています。

鹿内市長と木村さんから、青森県産のりんごが贈られ、「羊蹄丸」と「八甲田丸」で結ばれた本校と青森市との交流を深めるとともに、和やかな懇談となりました。



➤ ものづくり体験講座を開催



10月19日（金）、新居浜市立船木中学校1年生のみなさんが本校機械工学科を訪れ、体験実習や見学を行いました。

これは、財団法人 東予産業創造センターが「ものづくり体験講座」と題し、ものづくりキャリア教育を実施しているもので、今回は本校キャンパスにて開催しました。

参加者は、順々に機械工学科のものづくりを巡り、目を輝かせながら体験していました。

➤ 授業参観を実施

10月20日（土）、授業参観を実施し、保護者225名が授業の様子などを熱心に参観しました。

アンケートで寄せられたさまざまな意見を参考に、今後の授業改善に反映させていきたいと思えます。

授業参観の様子(右)



➤ 第16回科学体験フェスティバル in 大洲にてミニSL運転会を開催

10月27日（土）、国立大洲青少年交流の家において、「科学体験フェスティバル in 大洲」が開催され、約4,000人が会場を訪れる中、本校から、ものづくり教育支援センターが出張ミニSL運転会を開催しました。

ミニSLを初めて見る子どもたちも多く、蒸気機関車の仕組みに興味を持ち、石炭を手に取りながら、燃えている火室を覗き込んだり、蒸気の吹き上げに驚いたり、一日中、歓声と汽笛が山々にこだまするイベントとなりました。



➤ アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012四国地区大会に参加

10月28日（日）、高知県立青少年センター大アリーナ（高知県香南市）を舞台に、四国5高専6キャンパスから12チームが参加した同大会に、本校からはA「ひうっちゃん」、B「たこちゅー」の2チームが出場し、学生達が昼夜を問わず懸命に製作したロボットを駆使して熱い戦いを繰り広げました。



▲Aチーム「ひうっちゃん」



▲Bチーム「たこちゅー」

今回の課題は、“様々な種類のペット・ロボットが、高専生と協力して玉入れをする競技”でした。この課題に刺激されたためか、今年の本校チームには、たくさんの「リケジョ（理系女子）」が参戦しました。

その効果もあり、熱戦の中にも愛くるしくユーモアのあるロボットが登場し活躍しました。

A、Bチームとも全国大会へ進むことはできませんでしたが、A「ひうっちゃん」はその画像処理性能とユーモアが評価され、本田技研工業の特別賞を受賞、B「たこちゅー」はペットらしさが高評価を得て、全国からのウェブ投票による「ベスト・ペット賞」を獲得したほか、東京エレクトロンの特別賞をダブル受賞しました。



Aチーム「ひうっちゃん」受賞の様子



Bチーム「たこちゅー」受賞の様子



▲記念撮影

➤ 新居浜市との連携協力推進会議を開催

10月29日（月）、「新居浜市と新居浜工業高等専門学校の連携協力に関する協定書」に基づく連携協力推進会議が新居浜市役所において開催されました。

今回の会議では、市制施行75周年及び本校創立50周年記念事業として一般公開を実施した羊蹄丸に関連して、「えひめ東予シブプリサイクル研究会」における今後の連携について協議したほか、災害時避難場所としての協力体制を協議しました。

➤ 第47回国領祭「紅葉」

11月3日（土）・4日（日）の2日間、学生の祭典、第47回国領祭を開催し、紅く燃え上がる紅葉のように、学生たちが中心に昼夜を問わず準備してきた出し物で、今年も多くの来場者を魅了しました。



期間中は、「学科・専攻科展示」、「文化部展示」、「部活・クラス等出店」、「寮生会主催チャリティバザー」、「ライブハウス」、「野外ステージ」、「入試情報コーナー」等が行われ、学生をはじめ多くの保護者の方や地域の方々が来場しました。



ほかにも同窓会イベントや、正面玄関前植え込みのイルミネーション点灯があり、祭りの雰囲気有一段と盛り上げていました。



➤ 高校化学グランドコンテストで金賞を受賞

11月4日（日）、大阪市立大学にて開催された「第9回高校化学グランドコンテスト」において、本校生物応用化学科3年の女子3名が研究発表を行い、見事、金賞に輝きました。このコンテストは、化学を基盤とした実験・調査研究に関する発表を行う場で、本校学生は「リン酸ジルコニウムによる排水中の微量有害元素の除去・固定」に関する発表を行いました。

学生達は4月頃から本コンテスト応募の準備を始め、指導教員による熱心な指導の下、夏期休業中も様々な実験を行って今回の賞を手にしたものです。

【受賞者】生物応用化学科 3年
潮見 咲菜、飯尾 芹香、戸井 麻友香

【指導教員】生物応用化学科 桑田 茂樹 教授
同 中山 享 教授



➤ ロシア・ノボシビルスク市青少年交流団が来校

11月9日（金）、ロシア・ノボシビルスク市からの青少年交流団6名が愛媛県内での交流活動の一環で、本校を訪問しました。



交流団は、早瀬国際交流推進室長のほか職員との懇談後校内を見学し、途中、授業に飛び入りで参加する等学生と交流しました。また、技術職員の説明で七宝焼きの製作体験をし、交流団員は、出来上がった作品を見て感激した様子でした。



限られた時間ではありましたが、ロシアと日本を結ぶ和やかな交流となりました。

➤ **全国高専デザインコンペティション2012で審査員特別賞を受賞**

11月10日(土)・11日(日)の2日間、小山高専を開催主管校として、白鷗大学 東キャンパスにて全国高専デザインコンペティション2012が開催されました。

本校からは、構造デザイン部門に「SECTOR」(機械工学科生3名)と「こだわりのアーチ」(機械工学科生2名)の2作品が参加し、「SECTOR」が、審査員特別賞を受賞しました。



(上) 競技風景

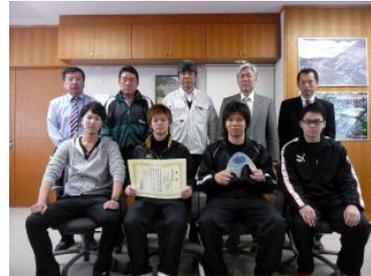
(左) 受賞報告時の
記念撮影



▲ 「SECTOR」



▲ 「こだわりのアーチ」



【SECTOR】

「SECTOR」とは扇形のことです。扇形の「きれいな橋」を製作目標としました。私たちの製作した橋の特徴は「棒を曲げる」ところです。「扇子」の計上をモチーフに製作と破壊実験を繰り返し、より良い扇形状の橋を追求しました。

【こだわりのアーチ】

新居浜高専伝統の「アーチ形状」にこだわり、さらに軽量かつ造形美に優れた橋を目標にしました。

軽量化を実現するために、無駄な部材を除去したり削ったりして荷重を橋全体で支えるように試行錯誤を繰り返して作成しました。

➤ **「グリーン・イノベーションEXPO2012」に本校教員が参加**

11月14日(水)から16日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)で行われた公益社団法人 化学工学会及び一般社団法人 日本能率協会主催「グリーン・イノベーションEXPO2012」に、本校生物応用化学科 堤主計准教授が参加し、現在取り組んでいる「生分解性プラスチックを用いた環境適応型徐放剤」について、研究紹介を行いました。

本イベントへの出展は、四国地区高専地域イノベーションセンターが中心となり進めてきた事業で、四国地区の各高専から研究紹介が行われました。

3日間の展示会に多くの来場者が訪れ、本ブースにおいても、研究紹介のみならず、高専の紹介などでも多くの来訪者があり、訪れた方々にご覧いただくとともに、情報交換が行われました。



▲ 来訪者へ説明する堤准教授

➤ **第50回新居浜高専工業技術懇談会を開催**

11月16日(金)、新居浜高専工業技術懇談会を開催しました。

この懇談会は、地域の方々へのシーズ情報の提供と産学官の情報交流を通じて、地域産業の発展を目指し、平成3年から開催しています。本校が創立50周年を迎えた今年、本懇談会も開催50回目を迎えました。

今回は、世界から注目されている「次世代に向けた夢の技術」の確立に向け、最前線で活躍されている(株)本田技術研究所 上席研究員の藤澤義和先生と、愛媛大学大学院教授の野村信福先生をお迎えし、ご講演いただきました。



▲ 講演の様子

➤ 「にいほま環境広場」に出展参加

11月18日（日）、新居浜市制75周年記念事業「にいほま環境広場」に生物応用化学科の学生と教員が「身近な発電」というテーマで出展参加しました。当日会場には約1,200名が訪れました。

本校からは発電・蓄電をテーマとした体験型のブースを5つ出展し、年配の方から小さな子どもまで多くの参加がありました。特に水素吸蔵合金を用いた蓄電装置に関心が多く集まり、未来の蓄電のあり方などについて、話題が尽きない様子でした。

会場には市内の他高校からも出展があり、互いの学校の取り組みに ▲発電・蓄電をテーマにした体験ブース
ついて情報交換することができ、高専の地域での役割を再認識する活動となりました。



➤ 国際シンポジウムISTS2012に専攻科生が参加

11月21日～24日、タイ王国バンコクにて開催された国際シンポジウムISTS2012に生物応用化学専攻 岡部拓也君が参加し、「気水界面における高分子単分子膜の挙動（邦題）」の題目で口頭発表を行いました。

本シンポジウムは、正式名称を「『持続可能な社会構築への貢献のための科学技術』に関する国際シンポジウム」といい、国立高専機構と地元キングモンクット工科大学ラカバン校の主催により、国立高専の学生とアジア地域の理系学生が学術発表を通じて国際交流を図ることを目的に企画されたもので、今回で2回目の開催となります。

英文論文の査読を経て選考された海外の学生（タイ、ベトナム）と全国の高専専攻科生（教員や本科生を一部含む）の約200名が発表者として参加し、英語による研究発表と質疑応答を行いました。



▲口頭発表を行った岡部君

➤ 防災訓練を実施

11月22日（木）、地震による火災発生を想定した防災訓練を行い、全学生・教職員が参加し、防災意識を高めました。

本年は、地震発生による避難及び消防署等各関係機関への連絡、初期消火訓練を行い、緊急時における危機管理体制を確認しました。

当日は、新居浜市消防本部の指導のもと、学生10名による消火器消火訓練及び担当教員による消火栓の使用講習会も併せて行い、火災発生時の消火活動について実習を行いました。



▲学生による消火器消火訓練の様子

➤ 科学技術アイデアコンテスト「テクノ愛2012」に入賞

科学技術のアイデアコンテストとして16年の歴史をもつ「テクノ愛2012」に、生物応用化学科1年 鈴木裕貴子さんの、もやし等のプラウトに彩色を施した商品を開発するというアイデア「色々もやし」が入賞しました。（四国内の大学・高校・高専からの入賞は本校のみ）。

「テクノ愛」は、ユニークな発想やベンチャー精神を持つ人材を育成する一環として、高校生・大学生などを対象に審査し、優れたアイデアを表彰するものです。

11月23日（金）に行われた最終審査会では、鈴木さんは参加最年少ながら、堂々と質疑に应答し、本校では平成21年以来となる同賞受賞を果たしました。



▲鈴木さんの発表の様子

➤ 校長と女性教職員との懇談会を開催

11月27日（火）、女性教職員の意見を参考に働きやすい職場づくり、教育研究環境の整備を行うことを目的として、校長と女性教職員との懇談会を開催しました。

今年10月に発足した男女共同参画推進室が女性教職員に実施したアンケートをもとに、施設面での要望や、育児期間中の教職員への配慮などについて、意見交換しました。

今後も継続して懇談会を開催するとともに、今回出された意見を参考に、学生、教職員が過ごしやすい学校づくりを目指します。



➤ 教職員の体力診断を実施

11月29日（木）・30日（金）の2日間、教職員の食事や運動などの生活習慣を見直し、メタボリックシンドロームの予防や改善に繋げようと体力診断を実施しました。

当日は、握力や長座体前屈、20mシャトルランテスト等を行い、教職員は自分の体力に合わせた目標を目指し、測定を受けていました。



➤ 教職員のメンタルヘルスに関する研修会を実施

12月3日（月）、ハローワークプラザ松山 早期就職支援職業指導ナビゲーターの村上由美子先生をお招きして、教職員のメンタルヘルスに関する研修会を開催しました。

この研修会は、本校安全衛生委員会と学生相談室が共同で開催したもので、今回は「アサーション」という自他尊重のコミュニケーションについて、具体的な場面における会話例を挙げながら講演がありました。

講演終了後は、「アサーション」を学生指導に活かす方法等、様々な質問があり、コミュニケーションについて考える貴重な時間となりました。



▲研修会の様子

➤ 愛テクフォーラム法人会員企業による会社紹介・説明会を開催

12月6日（木）、本校技術振興協力会「愛テクフォーラム」法人会員企業2社による会社紹介・説明会を開催し、本科4年生18名が参加しました。

今回、新居浜市内に拠点を持つ「愛テクフォーラム」法人会員の丸重商事株式会社、株式会社 曾我部鐵工所の2社が本科4年生を対象に会社紹介・説明会を開催しました。

説明会では、企業の担当者から事業内容とともにどのような学生に志望して欲しいか説明があり、参加した学生は、地元にある企業で働くことを意識するとともに、2月に本校で開催される企業説明会を前に、就職活動へスタートを切ることができました。



▲企業担当者による説明

➤ イルミネーションの点灯



国領祭で学生が手作りした約5,000個のLEDの光るイルミネーションが、今年は12月25日まで点灯し、夜のキャンパスをロマンチックに彩りました。



➤ サイエンスセミナーを開催

12月10日(月)、本校視聴覚教室にてサイエンスセミナーを開催し、NHK「おはよう日本」(土日祝)の気象予報を担当されていた、財団法人気象業務支援センター専任主任技師・村山貢司氏を講師にお迎えし、「地球環境とエネルギー」と題してご講演いただきました。

講演では、気象の観点から地球温暖化を紐解き、異常気象が発生するメカニズムやそれらが私たちの暮らしに与える影響、気候の変化が食料・水問題につながることなどを解説していただきました。

本校学生をはじめ、学内外の参加者約100名は興味深く聴き入りました。



▲講演する村山講師

➤ 留学生ウィーク

12月10日(月)～14日(金)の5日間、留学生8名が母国を紹介する「留学生ウィーク」として各種催しを行い、多様な文化について理解を深めました。

本校管理棟正面玄関ロビーでは、留学生が母国であるインドネシア、ベトナム、マレーシア、モンゴルをそれぞれ紹介するパネルや、日本文



化の体験として行った生け花を展示しました。

最終日には、モンゴルからの留学生オーコさんによる母国紹介スピーチがあり、学生や教職員、地域の国際交流団体の方々、ほかの留学生に対し、流ちょうな日本語で、モンゴルの言葉や食べ物、住まい、祭り等について紹介をしました。



(写真) 上 展示会場

左 母国紹介スピーチ後記念撮影

◇◆寮務委員会から◆◇

○チャリティバザー(国領祭)

11月3日(土)、4日(日)の2日間に開催された国領祭において、チャリティバザーを行いました。オープンと同時に多くのご来場をいただきました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

担当寮生の頑張りもあり、お陰様で120,000円の義捐金が集まりました。全額、日本赤十字社の『東日本大震災義援金』に寄付いたしました。



◇◆図書委員会から◆◇

○第2回ブックハンティングを実施

11月17日(土)、宮脇書店総本店(高松市)にて平成24年度第2回ブックハンティングを実施しました。総勢15名が参加し、学生は熱心に購入希望図書を選びました。



▲書店前にて集合写真

新居浜高専は
平成24年4月に創立50周年を迎えました。



記念モニュメント・記念碑



(独)国立高等専門学校機構

新居浜高専

Niihama National College of Technology

～知恵 行動力 信頼～

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7-1
TEL(0897)37-7700 FAX(0897)37-7842